

# zxjafont パッケージ (v0.4)

八登崇之 (Takayuki YATO; aka. “ZR”)

v0.4 [2018/05/04]

## 1 概要

X<sub>q</sub>LaTeX + fontspec でのフォントファミリー名を直接指定する方式は「好きなフォントを指定する」という点では、pLaTeX よりも格段に使い易いが、日本語を扱うためには必ず何らかの設定を行う必要があり、これが煩わしく感じられる場合もある。本パッケージでは、pLaTeX において一般的に行われている設定を予め用意しておいて、簡単に呼び出せるようにしている。

■前提フォーマット X<sub>q</sub>LaTeX。

■依存パッケージ

- fontspec パッケージ

## 2 使い方

以下のようにパッケージを読み込むだけである。(ユーザ命令・環境はない。)

```
\usepackage[⟨メイン設定⟩,⟨サブ設定⟩,⟨他オプション⟩]{zxjafont}
```

⟨メイン設定⟩は1つだけ指定できるが、⟨サブ設定⟩と⟨他オプション⟩は任意個数指定可能である。もしfontspecが未読込の場合は自動的に読み込む。X<sub>q</sub>LaTeXには和文と欧文の元来の区別がないので、このパッケージで指定するフォントが全ての文字に通用する。ただし、zxjatypeパッケージでは和文と欧文を区別するので、それと併用の場合は和文のみにフォント設定が適用される。

### 2.1 メイン設定

総称ファミリーの設定 (fontspec の `\setmainfont`、`\setsansfont`、`\setmonofont`) を行うもの。

※「メイン設定」はpxchfonパッケージにおける「プリセット設定」をそのまま(ただし明朝・ゴシック2ウェイトに縮減して)引き継いでいる。設定内容の詳細については、pxchfonの説明書を参照してほしい。

■単ウェイト用の設定 明朝・ゴシック各々1ウェイトのみを用いる設定。セリフ (`\rmfamily`) に明朝、サンセリフ (`\sffamily`) と等幅 (`\ttfamily`) にゴシックを割り当てる。さらに、pLaTeXの習慣に合わせて、セリフの太字 (`\bfseries`) もゴシックにする。(これは必ずしも好ましい設定ではないことに注意。)

- ms : MS フォント。
- ipa : IPA フォント。
- ipaex : IPAex フォント。

※ Xe<sub>La</sub>TeX は「フォント非埋込の PDF 生成」に対応していない。

■多ウエイト用の設定 明朝・ゴシック各々 2 ウェイトを用いる設定 \*<sup>1</sup>。セリフに明朝、サンセリフと等幅にゴシックを割り当て、各々について通常 (`\mdseries`) と太字 (`\bfseries`) を個別に設定する。

- ms-hg : MS フォント + HG フォント。  
※ HG フォント = Microsoft Office 付属の日本語フォント
- ipa-hg : IPA フォント + HG フォント。
- ipaex-hg : IPAex フォント + HG フォント。
- moga : Moga フォント (2004JIS 字形)。  
※ MogaEx 系統が用いられる。
- moga-90 : Moga フォント (90 / 2000JIS 字形)。  
※ MogaEx90 系統が用いられる。
- kozuka-pro : 小塚フォント (Pro 版)。
- kozuka-pr6 : 小塚フォント (Pr6 版)。
- kozuka-pr6n : 小塚フォント (Pr6n 版)。
- hiragino-pro : ヒラギノフォント基本 6 書体セット (Pro/Std 版)。
- hiragino-pron : ヒラギノフォント基本 6 書体セット (ProN/StdN 版)。
- morisawa-pro : モリサワフォント基本 7 書体 (Pro 版)。
- morisawa-pr6n : モリサワフォント基本 7 書体 (Pr6N 版)。
- yu-win : 游書体 (Windows 8.1 搭載版)。
- yu-win10 : 游書体 (Windows 10 搭載版)。
- yu-osx : 游書体 (Mac OS X 搭載版)。
- sourcehan : Source Han Serif (源ノ明朝) + Source Han Sans (源ノ角ゴシック)、非サブセット版\*<sup>2</sup>。
- noto : Noto Serif CJK + Noto Sans CJK、非サブセット版。

■ptex-fontmaps 互換のオプション ptex-fontmaps のプリセット名を別名として用意した。

- kozuka : kozuka-pro の別名。
- morisawa : morisawa-pro の別名。

※なお、hiragino-pro と同義の ptex-fontmaps のプリセット名は hiragino であるが、本パッケージの hiragino は旧版の非推奨の設定であり hiragino-pro とは異なる。

■旧版の設定 v0.2a 版以前で用意されていたメイン設定で、現在では非推奨である。

※これらは TeX Live 2019 のリリース時を目途にして 廃止予定である。

\*<sup>1</sup> fontspec では 3 ウェイト以上の設定ができない。

\*<sup>2</sup> つまり、地域別サブセット OTF 版以外のもの。後掲の noto も同じ。

- `kozuka4`: 小塚フォント (Pro 版) の単ウエイト使用。
- `kozuka6`: 小塚フォント (Pr6 版) の単ウエイト使用。
- `kozuka6n`: 小塚フォント (Pr6n 版) の単ウエイト使用。
- `hiragino`: ヒラギノフォント (Pro 版) の単ウエイト使用。
- `ms-dx`: `ms-hg` の別名。
- `ipa-dx`: `ipa-hg` の別名。
- `hiragino-dx`: `hiragino-pro` の別名。
- `moga-mobo`: `moga` の別名。※ `pxchfon` 互換用。

## 2.2 サブ設定

`fontspec` では使用するフォントを `\newfontfamily` 命令で増やすことができる。それを利用した追加設定である。

- `hg`: Microsoft Office のフォント (HG フォント) に対応する、以下のファミリー命令が定義される。
  - `\hgmcfamily`: HGS 明朝 B、太字 =HGS 明朝 E。
  - `\hgprfamily`: HGS 創英<sup>フ</sup>レ<sup>ン</sup>ス EB
  - `\hggtfamily`: HGS <sup>ゴ</sup>シック M、太字 =HGS <sup>ゴ</sup>シック E。
  - `\hggufamily`: HGS 創英角<sup>ゴ</sup>シック UB
  - `\hgmfamily`: HG 丸<sup>ゴ</sup>シック M-PRO
  - `\hgkkfamily`: HGS 教科書体
  - `\hgksfamily`: HG 正楷書体-PRO
  - `\hggsfamily`: HGS 行書体
  - `\hgppfamily`: HGS 創英角<sup>ホ</sup>ッ<sup>ッ</sup>体
- `hiraginomg`: ヒラギノの丸ゴシックを使う設定。
  - `\hmgfamily`: ヒラギノ丸ゴ Pro W4
- `mobo`: Mobo フォント (2004JIS 字形) を使う設定。
  - `\mobofamily`: Mobo フォント (2004JIS 字形)
- `mobo-90`: Mobo フォント (90 / 2000JIS 字形) を使う設定。
  - `\mobofamily`: Mobo フォント (90 / 2000JIS 字形)
- `maruberi`: マルベリフォントを使う設定。
  - `\mmfamily`: モトヤ L マルベリ 3 等幅

※ `fontspec` では取り扱うフォントのウエイトを通常 (`\mdseries`) と太字 (`\bfseries`) の 2 つに制限している。多くの OS での扱いに合わせているようである。

## 2.3 その他のオプション

- `oneweight`: 複数ウエイト用のメイン設定を単ウエイトとして用いる。  
 ※ `pxchfon` の説明書において `\setminchofont` と `\setgothicfont` で設定されているウエイトのフォントが用いられる。

- `prop` : プロポーショナル幅のフォントを用いる。例えば、「IPA 明朝」の代わりに「IPA P 明朝」、「HGS 行書体」の代わりに「HGP 行書体」を指定する。既定で用いるのは等幅のフォントだが、「欧文のみプロポーショナル」の変種（HG フォントの場合「HGS～」名称のもの）がある場合はそれを優先させている。  
※ `zxjatype` を用いる場合は、和文は等幅フォントを用いることが前提なので、このオプションは指定できない（エラーになる）。
- `scale=<実数>` : スケール値（`fontspec` の `Scale` 属性の値）。既定値は、`BXjscls` の文書クラスおよび `zxjatype` パッケージで指定されている場合はその値、なければ 1 となる。
- `90jis` : 90JIS 字形（2000JIS 字形）の使用を指定する。
- `jis2004` : 2004JIS 字形の使用を指定する。
- `feature={<属性リスト>}` : このパッケージで指定されるフォント全体に通用する `fontspec` の属性の指定。